
Et Voilà!

2018年10月12日号 (第1号)

【ユマニチュード】

最近、ミーティング等でユマニチュードの勉強をしています。書籍の一部コピーを読み合わせたり、ネットにアップされた動画を観たりしています。

テレビなどでときどき紹介されたりしていますので、高齢者介護、特に認知症の方の介護に関心のある方のなかには、ご存知の方も多いかもれません。

ユマニチュードは、相手のことを思いやり、介護される方も介護する人も対等であると確かめ、その上でコミュニケーションをとりながら信頼関係を築き、介護を進めていくというものです。

その上で、見ること、話すこと、触れること、立つことなど、人の基本動作・活動を柱に、支援を進めていこうというものです。

見るということは、単に相手を見るのではなく、相手の視界に入ること、さらに相手にこちらの存在を意識してもらうということです（みるというより、見てもらうということです）。そのためには、後ろや横からではなく、正面から、おたがいの視線が合うような高さで見ると勧められています。

また、話すことでは、ゆっくり丁寧に話す、まずいっしょにいてうれしいことを伝え、そのあと、これから何をやるか、いま何をやっているかを逐次話すなどが勧められています。

このようなことは、ヘルパー資格の研修を受けたときなど、最初に言われることです。

つまり、ユマニチュードは、特別な技術というより、初心に戻って基本を徹底するという、少し大げさなくらい徹底するということでもあり

ます。

えてして、私たち支援者は、認知症の人や重度の自閉症の人に対して、どうせ何もわかっていないからと考え、一方的に介護や支援を進めがちです。慣れてくるほどその傾向が強くなりがちです。

しかし、いうまでもなくそのような人でも、感情はあり、その人なりに周囲のことを理解しているものです。ただ、情報の受け取り方、感情の表し方、意思の伝え方が、一般の人たちとは異なっているため、私たちからみると、わかっていないように見えてしまうだけなのです。

私たちは、頭ではわかっているつもりでいても、実際に支援に当たって、うまくいかないことが続いたり、時間に追われたりすると、わかっているつもりことができなくなってしまう、さらには、できなくても気にならなくなってしまうことが多いように思います。

私自身、知的障害や自閉症の人たちの支援に当たっているときに、私なりにこうした方がいいのではないかと思って支援にあたっても、うまくいかないことが少なくありません。私のやり方がよくないのだとは（頭では）思うのですが、うまくいかないで、かんしゃくを起こされたり、手を出されたり、大声を出され続けたりすると、ついイライラして、対応する口調が強くなってしまってもすくなくありません。

大声で叱っても効果はない（というより逆効果）ことはよくわかっているつもりなのですが、つい出てしまうんですね。

ですから、よりよいコミュニケーションを基本にして支援をしていくこのユマニチュードの技法

は、自分の支援のあり方を振り返り、今後どう進めたいのかについて、とても参考になるのです。

また、虐待が起きる原因のひとつに、障害そのものの理解不足や、障害のある人への対応方法がわからないということがあります。どうしていいかわからないから、力づくになったり、怒鳴ってしまったたり、拘束してしまったりするのですね。

少しでも対応の仕方がわかって、うまく支援できるようにになれば、虐待も防げるのではと思います。

そして、何より、イライラしながら、あるいは

相手の気持ちも考えずに一方的に介護をしても、仕事は楽しくありません。ユマニチュードを実践することで、相手との気持ちが通じて介護ができるようになると、仕事も楽しくなり、やりがいを感じられるようになるのではないかと思います。

参考文献

「ユマニチュードという革命」(イヴ・ジネスト、ロゼット・マレスコッティ共著、誠文堂新光社)

「ユマニチュード入門」(イヴ・ジネスト、ロゼット・マレスコッティ、本田美和子共著、医学書院)

【来年度の送迎について】

いつもあふネットサポートセンターをご利用くださり、誠にありがとうございます。

現在、スクールバス停からおぐのあかりや他事業所に送ったり、他事業所から他の事業所に送るなどの送迎を行っていますが、これらの送迎時間は同じ時間帯に集中することが多く、人手の少ない中、なんとかやりくりしているというのが現状です。さらに、折からの人手不足や、グループホーム、タイムケアの職員確保のため、ますます派遣がむずかしくなっています。

また、職員が付き添わなくても、一人でできそうな子どもさんもいて、ご本人の自立のためには、できることはやってもらったほうがいいと思うこ

とも少なくありません。一人でできる人の職員を付き添わせることで、かえってその子の自立の可能性を狭めている気がしてならないのです。

つきましては、来年4月より、基本的には、16:00以降の送迎を中止させていただきたいと存じます。16:30までに送迎が終了する分や、おぐのあかりを発着する場合は、これまでどおり派遣を続ける所存です。

それまでは、子どもたちがひとりで行き来できるようなるためにお手伝いをしていきつつもります。

なお、個別のご連絡も差し上げますが、あらかじめご理解のほどよろしく申し上げます。

グループホーム3号館開設介護スタッフ大募集!!

正社員 月給:22万~30万円以上
時給:1000円~1300円
1夜勤19,000円~(16:00~翌10:00)
社会保険完備 交通費(自転車を含む)支給

身体介護、家事援助、外出支援、通院支援、送迎
障害児タイムケア(障害のある子どもたちのお世話と遊び相手)
グループホーム(早朝、日中、夜間、宿泊勤務)

土日出勤、夜勤のできる人、大歓迎

発行・編集：川口仁志